

婦団連通信

Fudanren newsletter

第5号

2023年7月1日

日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303

TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585

URL : <http://fudanren.biz/>

婦団連創立70周年記念事業の成功と平和・ジェンダー平等を

婦団連創立70周年記念事業

創立から70年を振り返り、婦団連の活動の到達点を確認し、婦団連の発展の新たな契機にしたいと思えます。

10月28日(土) 全労連会館2階ホールで11時から、「記念のつどい」と「シンポジウム」を開催します(チラシ参照)。たくさんの方のご参加をお願いします。

募金のお願い

創立当時の貴重な資料は年月が経っているため劣化していますので、保存するために電子化を行います。70周年記念DVDと70周年パンフの作成、『婦人通信』の合本を行います。



入管法改悪反対、あらゆる差別NO!
ウィメンズアクション=5月26日有楽町

これらを成功させるために、皆様にかんぱの御協力をお願いいたします。同封紙でお願ひ申し上げます。

G7サミット、W7の動き

G7サミットで発表された「広島ビジョン」は、被爆地広島から「核抑止力」を肯定し、核兵器禁止条約には一言も触れず、被爆者の願いを踏みにじるものでした。

婦団連は、2月8日に緊急要望書「G7議長国としてのサミット開催にあたり、女性差別撤廃条約選択議定書の批准、選択的夫婦別姓制度の導入、同性婚の法制化を求めます」を内閣総理大臣、関係大臣に送付しました。「W7 Japan 2023」が岸田首相に提出した「コミュニケーション」は、フェミニスト外交政策の中核に「女性差別撤廃条約とその選択議定書をはじめとする国連人権条約の完全で効果的な実施」を位置づけています。G7広島首脳コミュニケーションは、ジェンダー平等実現は、「強靱で公正かつ豊かな社会のための基本」であり、「あらゆる人々が性自認、性表現あるいは性的指向に関係なく、暴力や差別を受けることなく生き生きとした人生を享受することができる社会を実現する」と宣言。日本は、ジェ

ンダー主流化に向けて、選択議定書の早期批准やLGBTQ差別禁止法などの法整備を早急に進めるべきです。

悪法の強行採決は許せない

岸田政権は、「安保3文書」の具体化を加速しています。第211国会では5年間で43兆円の軍事費を確保するため「防衛力強化資金」創設などの「防衛費増額財源確保法案」、「防衛産業支援法案」、保険証廃止のマイナンバー法案、原発推進等GX法案、入管法改悪法案などが自民、公明、維新、国民民主などによって強行されました。

平和とジェンダー平等実現をめざし、大軍拡・大増税NO! うち・くらし最優先の政治を求めていきます。



賛助会員のお願い

婦団連の活動を維持・発展させるため、賛助会員としてご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。賛助会費は月1口(1000円)から申し受け、賛助会員のみなさまには、「婦団連通信」、「女性手帳」、催しや出版物のご案内等をお送りいたします。

申し込みはFAX等で